



女優

草笛 光子さん Kusabue Mitsuko

1933年横浜市生まれ。50年松竹歌劇団に入団。58年から日本初の音楽バラエティ『光子の窓』の司会を務め人気を博す。日本のミュージカルの草分け的存在で『ラ・マンチャの男』『シカゴ』の日本初演に参加。大河ドラマ『鎌倉殿の13人』、映画『犬神家の一族』『老後の資金がありません!』、舞台『6週間のダンスレッスン』など数々の作品に出演し読売演劇大賞、日本アカデミー賞優秀助演女優賞を受賞。最新著書『きれいに生きましょうね』(文藝春秋)5月28日発売(3面参照)。1999年紫綬褒章、2005年旭日小綬章受章。

ヘアメイク:中田マリ子
スタイリング:清水恵子(アレンジメントK)

vol.122
ヨコハマ想い

大切な横浜

1933年、横浜生まれです。戦争中疎開していた時期もありましたが、ずっと横浜で育ち、戦後の大変な状況も目にしてきました。横浜への愛情はものすごくあります。

戦争が終わり横浜へ戻った時、幸いなことに焼けずに残っていた母方の祖父母の家に落ち着き、焼け出された近所の方々と一緒に暮らしました。高校受験の年になり、父が私に勧めた進路は県内有数の女学校、県立横浜第一高等女学校(現県立横浜平沼高校)。レベルが高すぎて私には無理と思いましたが、勧められるままに受けたら受かってしまいました。

自宅から学校までは電車で一駅。ところが電車通学が合わず、毎日歩いて通うことになりました。おかげで体が丈夫になりました。

なって。1学年上には岸恵子さんもいらっしゃり、同じ舞踊サークルに入っていました。美容体操研究家として活躍された竹腰美代子さんも上級生でした。しっかりした厳しい上級生が多くて私なんて小さくなっています。大人になってからも岸さんが時々我が家に来てくださって、当時の思い出話に花を咲かせたものです。今でも変なことをすると第一高女の先生に怒られる、なんてつい思ってしまいます。(笑)

女優の道へ

祖父母の家で一緒に暮らしていた方の中に、私と同年代で松竹歌劇団(SKD)が大好きな女の子がいて、松竹の音楽舞踊学校を受けるようにしきりに勧めるんです。私自身興味はなかったのですが根負けして受け

世代を超えて支持される国民的女優・草笛光子さん。そのエイジレスな美しさは今多くの女性の憧れの的だ。昨年10月に90歳を迎え、映画『九十歳。何がめでたい』では執筆当時90歳だった原作者・佐藤愛子さんを演じている。ユーモアを交えてのインタビュー。草笛さんの女優魂に心が震えた。

みたら、なんと合格。悩んだ末に高校を辞め、音楽舞踊学校へ入学することを決意しました。これがこの世界に入るきっかけでした。かれこれ70年以上、女優を続けたことになります。長く続けられたのは、成長させてくださったたくさんの方との出会いがあったからですが、私の体が丈夫だったことも大きな要因ですから両親に感謝ですね。それと責任感。お仕事をいただいたら、なんとしてもやり抜かなきゃと。

苦労は心の中にそっとしまって

ここに至るまでには、それはそれはいろいろなことがありました。芸能の世界を生き抜くことは、ちょっとやそとのことではありません。泣いたり苦しんだり笑ったり、さまざまな困難を乗り越えて……。眠れない夜もありました。そんな時、マネージャーの母はいつも「きれいに生きましょうね」と。それを合言葉にして心健やかに、苦しくてもお客様を楽しませることに尽力しました。

長い女優人生、いろんな方とお仕事を一緒にして、さまざまなことを教えていただきました。犬にだって教えられます。いい犬は見事な演技をしますからね。こんな立派な犬がいるのに、私は何をやっているんだろう。なんだって勉強になります。周りの方からいいものをいただいて、私は観てくださる方に元気を差し上げたい。心を込めて一生懸命やればみなさんを通じるはず。毎日を大事に生きていればそれが芸の上ににじみ出るはず。そう信じています。

90歳だからわかること

エッセイ『九十歳。何がめでたい』が原作の映画で、著者の佐藤愛子先生を演じました。ベストセラーとなった原作は共感するところが多く、愛読していました。明快に物事をおっしゃる愛子先生の作品は気持ちが良

く軽快なリズムがあって大好きです。

先生にお会いする機会もありましたが、きちんと背筋が伸びて、決して人を傷つけずに面白がらせ、読者の世界を明るくする方だと感じて。この年齢でなければわからない事情をさらけ出して、気負わず演じようと思いました。

まだまだ挑戦

愛子先生の担当編集者役の唐沢寿明さんは下町っ子で、私は横浜っ子。唐沢さんとは裏表のない性格が似ているのか、現実の愛子先生と編集者の方もこんな感じかしらと思えるような相性を感じました。今回は本当にたくさんの腕利きの役者さんが出演してくださいています。その中に三谷幸喜さんもいらして映画『老後の資金がありません!』に続き、私を「笑わせよう笑わせよう」と仕掛けてくるので負けないように頑張りました。

年を重ね気弱になることもありますが、今100歳の愛子先生がこのエッセイを書かれたのは90歳だったと思えば、私もまだいろいろなことに挑戦できるはず。これからも新しい出会いに、いつでも飛び込める準備をしておかないといけませんね。

90歳、大変なのよ、でもね、いろんなことを乗り越えてきた90歳だからできたの。「年を取りって大変そうだけど、ちょっと楽しそう」。この映画を観てくださった方が、そんなふうに明るい気持ちになってくだされば嬉しいです。90歳の私の精一杯、どうぞご覧ください。

映画『九十歳。何がめでたい』

6月21日(金)
全国公開



【監督】前田哲
【出演】草笛光子
唐沢寿明 藤間爽子
木村多江 真矢ミキ
三谷幸喜

©2024 映画「九十歳。何がめでたい」製作委員会
©佐藤愛子／小學館



葉山家具

家具の買い替え時に、天然木の一生ものを

家具下取りフェア

2024年6月30日(日)まで

即日
使用可

期間中に紙面持参の上 25万円以上(税込)お買い上げの方に
葉山ガーデン 5000円分ギフト券をプレゼント!

ソファフェア・早割フェア 同時開催中

25万円以上(税込)お買い上げで
引き取り料金無料+1万円値引き

※当社指定配達エリアに限る
(埼玉、千葉、東京、神奈川)



京急上大岡店

● 横浜市港南区上大岡西1-6-1
京急百貨店7Fユニクロ横

○ 10時~20時 (休なし)

📞 045-848-7299

西武東戸塚S.C.店

● 横浜市戸塚区品濃町537-1
西武東戸塚S.C.店5F GU横

○ 10時~20時 (休なし)

📞 045-828-3171

みなとみらい東急スクエア店

● 横浜市西区みなとみらい2-3-2
みなとみらい東急スクエア① B1
みなとみらい駅中央改札直結

○ 11時~20時 (休なし)

📞 045-640-1710

東急百貨店たまプラーザ店

● 横浜市青葉区美しが丘1丁目7番地
東急百貨店たまプラーザ店4F

○ 10時~20時 (休なし)

📞 045-903-2296

